

電子情報とコンソーシアム

- ・ コンソーシアムの目的: 規模の経済実現
 - 資源共同活用
 - ‘Buying Club’
 - ・ 共同購買
 - ・ 集団ライセンス(National License, Consortium-wide License)
 - Cooperative Collection Mangement
 - Group Training
 - Cooperative Archiving
 - Risk Sharing

電子情報とコンソーシアム

- ・ コンソーシアムの発展と変化
 - 伝統的協力→デジタル協力
 - ・ ILL, DDS, Shared Training
 - plus Collective Licensing, Sharing Electronic Resources, Risk Sharing
 - ・ Computer & Telecommunication Technology
 - 多くの種類のコンソーシアムに同時参加
 - Consortiaを通じて出版社及びベンダーとの新しい協力方案模索
 - Consortia of Consortia
 - ・ ICoLC(International Coalition of Library Consortium)
 - ・ Superconsortium

電子情報とコンソーシアム

- ・ **新しい問題(e-Resources)**
 - 電子情報資源の選定(評価)
 - 電子情報のアクセス方案
 - 電子情報資源のアーカイビング
 - ライセンシングおよび契約
 - 利用者グループの定義
 - コンソーシアム運営費用割り当て方法
 - 利用者認証
 - 経営情報および効率性の測定

電子情報とコンソーシアム

- ・ 価格モデル
 - － 参加機関の諸般条件による日程料率制
 - ・ 印刷ジャーナル購読金額と連動
 - ・ FTEと連動
 - ・ 同時利用者数と連動
 - － 参加機関数による連動価格制
 - － 総量制
 - － 固定金額制

電子情報とコンソーシアム

- ・ 著作権と使用範囲

- ILL

- ・ E-copy **許容可否**
 - ・ E-transmission **許容可否**
 - ・ 提供スペース制限**可否**

- 学習課題物(Coursepacks/e-reserve) **許容可否**

- Back-up copies

- 個人間交換可能可否(Personal exchanges)

- ※ 関連法:

- US Copyright Act 108条

- CONTU (National Commission on New Technological Uses of Copyrighted Works)

韓国の学術情報生産及び流通現況(逐次刊行物)

- ・ Current Periodicals: 6,600種(新聞など除外)
 - * 全体登録類: 約 11,000種
- ・ 学術ジャーナル: 2,150種(学会総覧基準)
 - 電子ジャーナル生産(印刷含み): 1,577種 (73%)
 - 印刷ジャーナル生産 : 573種 (27%)
- ・ 電子ジャーナル配布(1,577種)
 - 有料: 710種(45%)
 - 無料: 867種(55%)
- ・ 学術団体数: 2,466
 - 学会誌発行学会 : 1,865 (76%)
 - 学会誌非発行学会: 601 (24%)

韓国の学術情報生産及び流通現況(逐次刊行物)

- ・ 国内学術誌の生産/流通現況
 - ノンプロフィット単体：
 - ・ 学会
 - 2,150種 (1,865個 学会)
 - 発行および会員向きサービス
 - ・ 学会の村(KISTI)
 - 664種
 - 生産および国内原文サービス
 - ・ RISS4U(KERIS)
 - 1,740種
 - 国内GATEWAYサービス
 - ・ KoreaMed
 - 119種
 - 国内GATEWAYサービス

韓国の学術情報生産及び流通現況(逐次刊行物)

－ 営利団体

- ・ KISS(韓国学術情報)
 - － 779種
 - － 生産および国内外原文サービス
 - * 収録データ: 1,212個発行機関の 1,352種,120万件, 1,500万ページの資料 (1,352種中779種が学術ジャーナル)
 - * ダウンロード数: 9,123,706件/年(2007年基準)
- ・ DBPIA(NURI MEDIA)
 - － 419種
 - － 生産および国内外原文サービス

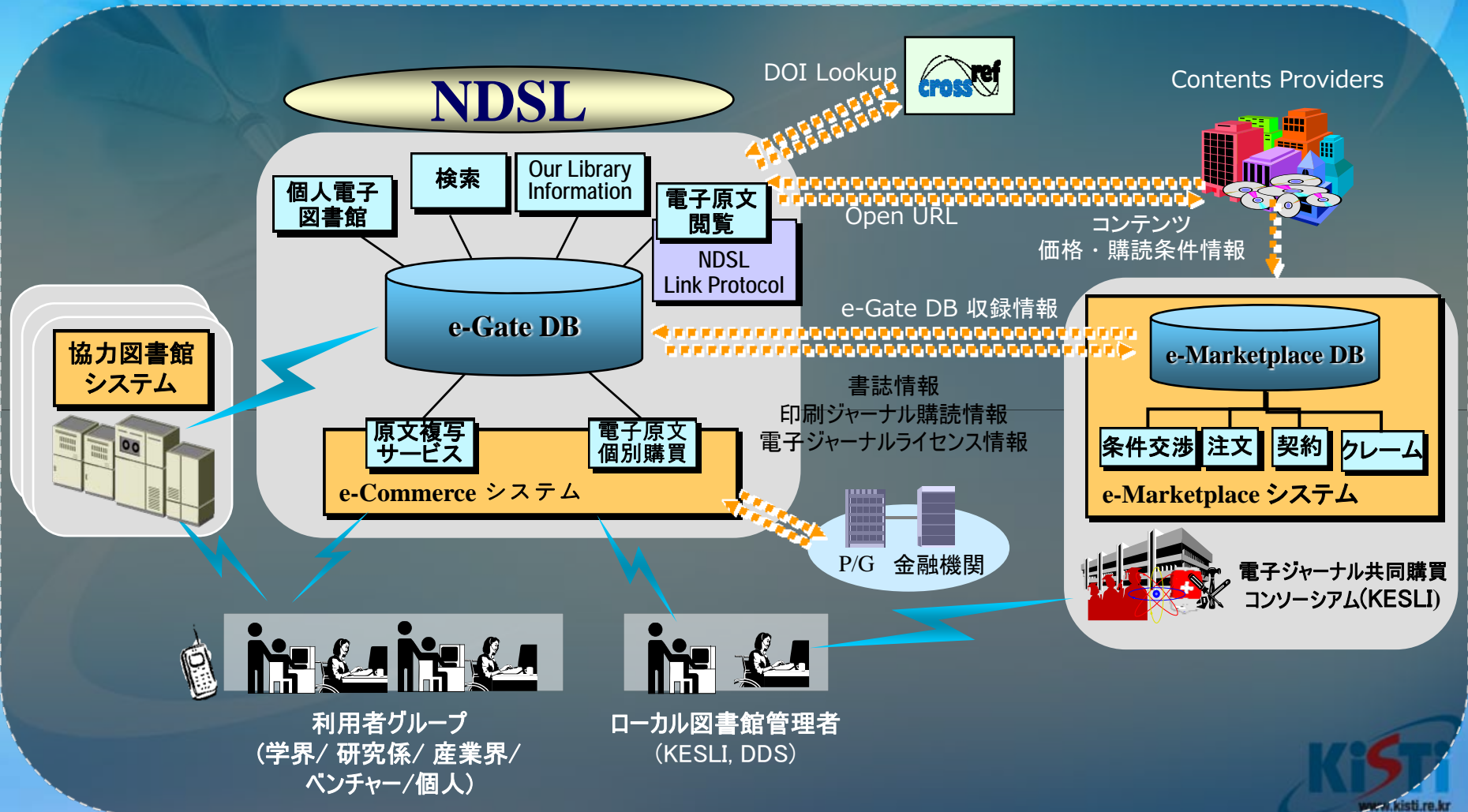
韓国の学術情報流通体系構築事業：概要

・ NDSLプロジェクト

- デジタル情報資源基盤の新しい概念の国家科学技術エレクトロニックライブラリー構築を目標にする
- 開発段階(4年: 1999~2002)と運営段階で区分して推進
- 開発段階での事業費は情報通信部が支援：総100億ウォン
- 運営段階(2003年~) 事業費は科学技術部が支援(毎年約15億ウォン)
- **主要事業内容**
 - ・ KESLI コンソーシアム運営
 - ・ NDSL システム開発と運営

韓国の学術情報流通体系構築事業: 概要

ビジネスプロセス概念図



韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

・ KESLI 誕生の背景?

- 海外ジャーナル購読モデルの変化: '90s
 - パラダイムの変化: 所蔵から接近に
 - 国内図書館, 政府及び図書館協議体は変化する環境に能動的な対応が不十分
 - 利用者の新しい要求: Early Adapters of KAIST
 - 先進事例をベンチマーキング: イギリスの NESLI
 - コンソーシアム基盤の共同購買胎動
- * 初期には KAIST で電子ジャーナル購読の共同対応策の一つとして出発

* Korea Electronic Site License Initiative

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

- ・ What is KESLI?
 - 海外電子ジャーナルの共同購買を目的に 1999年 KAIST 図書館で開拓したコンソーシアム
 - 2008年現在国内 371の図書館が参加しているし, 参加機関数基準で全世界最大図書館コンソーシアム
 - 電子ジャーナル共同購入で出発でしたが所蔵資料共同活用, 司書再教育プログラム及び電子情報フォーラム運営など国家的な図書館協力体で発展
 - 海外供給会社が生産するデジタルコンテンツの価格交渉を通じて安く国内に流通させて、これに対するメタデータとアーカイビング用の原文データを収集する業務も遂行

* Korea Electronic Site License Initiative

- ・ KESLIの特徴
 - ‘Law of Two Feet’
 - 自発的に誕生して要求に応じ成長し発展
 - 法的、制度的な装置なし
 - 購買集団としてスタート → 新しい価値創出の潜在性
 - 終わりのない挑戦

→ Organic Body??

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

- ・ KESLIの成功要所
 - 共同関心事項: Information Cost
 - 資源の共同活用機会の拡大
 - 情報資源に対するより多い情報提供
 - 事業費の確保
 - Communications
 - 有効なプログラムとサービス開発
 - リーダーシップ

* Korea Electronic Site License Initiative

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

- ・ KESLIの成果
 - 可用学術ジャーナルの規模: 10倍 拡大
 - NDSL 誕生と成功の基盤
 - 国内最高水準の司書再教育プログラム開発/運営
 - 資源共同活用 Library Network構築
 - National Digital Archive構築推進: Safe Place
 - Mobile Campus コンソーシアム
 - Worldwide Reputation

* Korea Electronic Site License Initiative

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

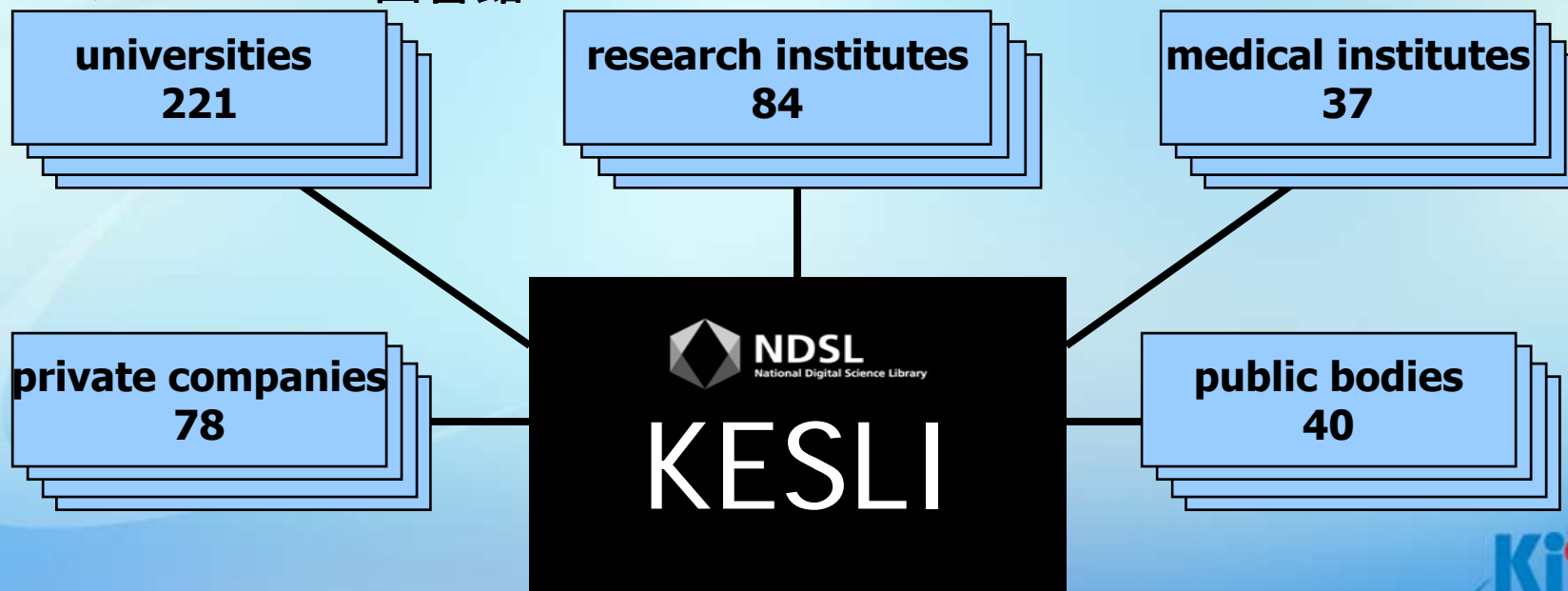
- 総 460個図書館が KESLI コンソーシアムに参加

- ▶ 共同購買 : 371図書館

- 20,132 e-journals, 14,705 e-proceedings, 13,781 e-standards, 43,496

- e-books, etc

- ▶ DDS : 290図書館



韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

年度別 KESLI コンソーシアム加入数/提供ジャーナル現況

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
コンソーシアム数	6	12	27	31 (32)	44 (54)	57 (67)	73 (88)	90 (110)	95 (132)
ジャーナル数	2102	3585	4813	5877	8610	8130	13179	18547	20132
加入機関数	160	223	259	276	299	324	345	374	371
加入件数	383	903	1431	1515	1750	1985	2194	2622	2703
平均加入件数	2.39	4.04	5.52	5.48	5.85	6.13	6.36	7.01	7.28

- ※ コンソーシアム数: KESLIに参加する出版社,学会など供給者の提案コンソーシアム数
- ※ コンソーシアム加入数: 提案コンソーシアムごとに購買のために加入に参加した総件数
- ※ 対象ジャーナル数: コンソーシアムが提供する電子ジャーナル全体件数

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

電子情報の類型別導入類数

	e-Journals	Proceedings	Standards	e-Book	Web DB	ETC
導入種数	9,646	14,705	13,781	43,496	40,124	

* 電子ジャーナル種数は日本,中国ジャーナル除外

分野別電子ジャーナル導入種数

	哲学	宗教	社会科学	語学	基礎科学	応用科学	芸術	文学	歴史	ETC
ジャーナル種数	327	171	2365	217	2367	3557	296	204	446	516

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

供給会社の類型別コンソーシアム現況

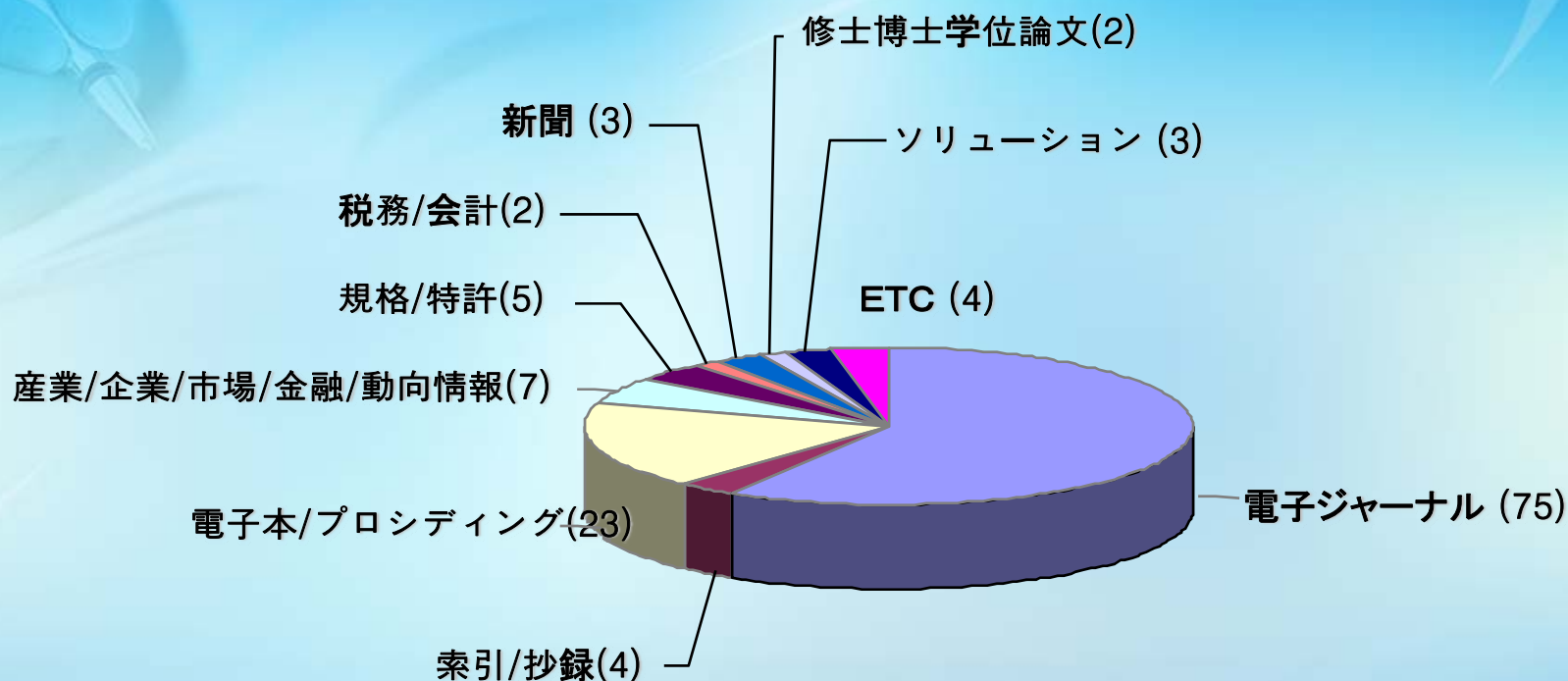
	学・協会	商業 出版/供給社	ETC	合計
コンソーシアム数	18	107	7	132

日本供給会社の KESLI 参加現況

- コンソーシアム数 : 5個 of 132個
- 提供ジャーナル数 : 3,500種 of 20,132種

韓国の学術情報流通体系構築事業: KESLI

KESLI 共同購買アイテム



* ETC : 講義資料, 全世界研究者情報, Funding Source情報

KESLI事業分析 & 評価

・ 事業実態

- 販売方式: Site License (IP control)
- 価格モデル
 - ・ 印刷ジャーナル購読基盤
 - ・ 機関規模,加入機関数,購読規模などに連動
- 販売モデル: 印刷+電子併行販売 → e-Only モデル
- パッケージディール
- Coverage of Content
 - ・ including back volumes
 - ・ moving wall
- 不当使用に対する対策
 - ・ 契約書に禁止事項表記
 - ・ 持続的なモニタリングと警告メッセージ

KESLI事業分析 & 評価

・ 評価と時事点 1

- 多様な購買モデルの妥当性検討が必要
 - ・ 国家ライセンス
 - ・ 個別ジャーナル購読型
 - ・ 従量制
 - ・ 主題別コレクション選定の柔軟性
 - ・ 個別アーティクル購買(pay-per-view)
- 価格以外の契約条件関連問題の深層分析が必要
- ジャーナル価値算定のため利用統計活用方法
 - ・ 統計資料活用と分析結果を価格政策に反映
 - ・ 標準化された統計資料提供をコンソーシアムの進入条件として明示

KESLI事業分析 & 評価

・ 評価と時事点_2

－ 電子ジャーナルアーカイブの必要性

- ・ ライセンス基盤の電子ジャーナル購読型の未来接近への不確定性
- ・ 電子ジャーナルに対する永久保存の主体が出版社？

☞ KESLIが自主的にNDA (National Digital Archive) 推進

－ オープンアクセスと公共接近保障

- ・ 政府支援研究結果に対するデジタル納本制を推進
- ・ 国家支援研究結果に対する公共接近性確保のための法的装置用意

☞ アメリカ連邦政府 Federal Research Public Access Act制定

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

What is NDSL?

- *a National Scholarly Portal*
- *a Library Network based Information System*

国内研究者たちに
国内外学術電子ジャーナルは勿論
国内保有印刷ジャーナルに対する
One-Click トータルサービスを提供



学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

Why NDSL?

- ・ KESLI 推進で接近可能な電子情報が急速に増加しましたが
- ・ いっどこでも、数回のクリックで必要な情報源を手に入れたい研究者の要求に満たすサービスシステムが無い
- ・ 全国の研究者を対象にしたゲートウェイとして大規模の統合メタデータベース構築とサービス開発が必要
- ・ 全国図書館と海外情報サービス機関の所蔵情報源の共有支援する総合リスト構築と DDS サービス開発が必要

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

NDSL 機能

- ・ 利用者システム(Front End System)
 - 論文統合検索サービス
 - 学術ジャーナル ブラウジングサービス
 - 電子原文リンクサービス
 - 電子商取引基盤印刷ジャーナル原文コピーサービス
 - 校外接続サポートサービス(Remote Access)
 - NDSL-on-Site(NOS)サービス
 - My NDSLサービス
 - ・ Alertingサービス
 - ・ My favorite journalsサービス
 - ・ My favorite articlesサービス
 - ・ My favorite queriesサービス

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

NDSL 機能

- ・ 管理者システム(Back Office System)
 - e-Gate DB 構築及び管理
 - 電子情報 管理
 - DDS 運営と管理
 - オーダーメイド情報管理
 - 電子商取引システム運営及び管理
 - 統計情報管理
 - 利用者管理

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

NDSL サービスの特徴

- ・ 海外主要出版社の電子ジャーナルと印刷ジャーナルの統合的にサービス
 - ・ ワンクリックサービスによって原文獲得時間が画期的に短縮
 - ・ ジャーナル出版と同時にアップデートされた最新で最大の論文情報提供
 - ・ 個人別に差別化されたインターフェース提供
 - ・ All web based
 - ・ 電子商取引支援
 - ・ 全国民を対象に無料サービス
- ☞ 原文コピーサービスは実費で提供

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

NDSL 成功要因

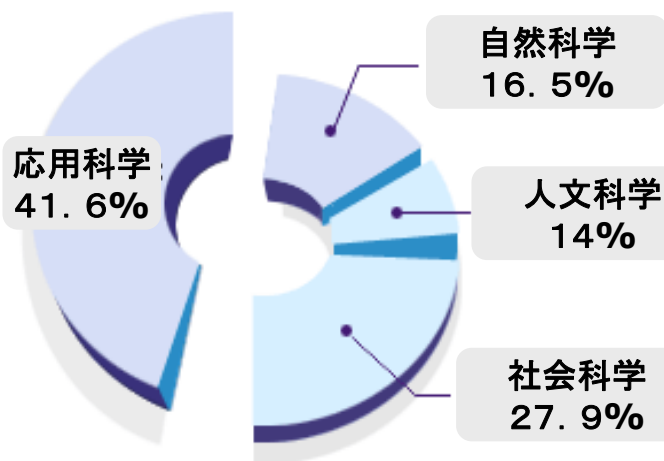
- ・ **新しい媒体(電子ジャーナル) 先行獲得**
- ・ **革新的メタデータ収集チャンネル(KESLI)**
- ・ **うるさい内部顧客**
- ・ **事業費: 4年 100億ウォン(情報通信部)**
- ・ **事業初期から Localではない National Serviceに焦点**
 - ☞ **名称: National Digital Science Library**
- ・ **論文単位の統合検索とインテルリジョントした原文リンクング/伝達サービス**
- ・ **サービス運営哲学: ‘顧客は 王様’**
- ・ **事業ドリームチーム:**
 - **情熱**
 - **自負心(最初の政府支援図書館プロジェクト)**
 - **意思決定プロセス**

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

NDSL 現況

データベース構築現況

(2007. 4. 9現在)



書誌情報	총 242,585種
— ジャーナル	55,816種
— PROCEEDING	186,767種
論文(Article)情報	총 36,009,362件
— ジャーナル	29,656,194건
— PROCEEDING	6,353,169건
VOL/ISSUE情報	총 5,595,115件
— ジャーナル	5,402,177건
— PROCEEDING	192,938건
VOL/ISSUE別 所蔵情報	397개 기관: 17,595,993건
電子原文リンク情報	총 29,354종 20,220,169건
— ジャーナル	21,176종 19,334,841건
— PROCEEDING	8,178종 885,328건
電子ライセンス情報	374개 기관: 1,572,768건

学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

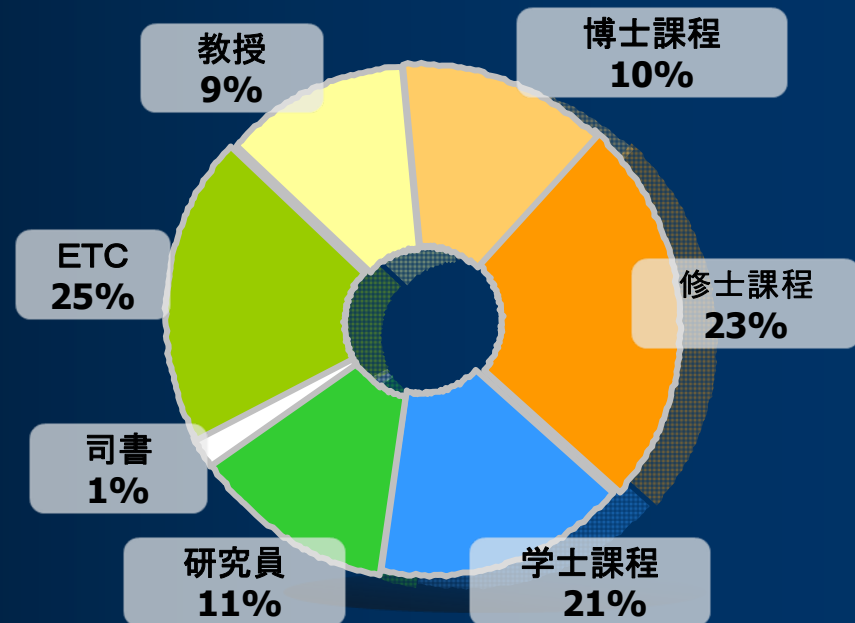
NDSL 現況

使用者登録現況

(2007. 12. 31 現在)

117,127人

教授	10,360
博士課程	11,403
修士課程	27,051
学士課程	24,319
研究員	12,853
司書	1,707
ETC	29,434

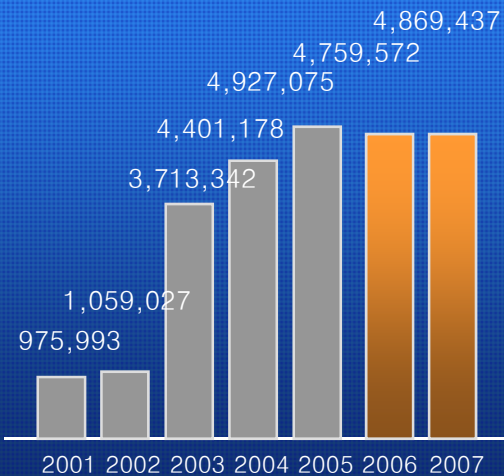


学術情報の流通体系の構築事業: NDSL サービス

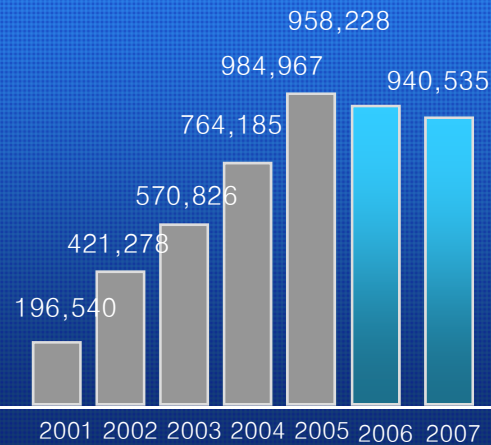
NDSL 現況

(2007. 12 現在)

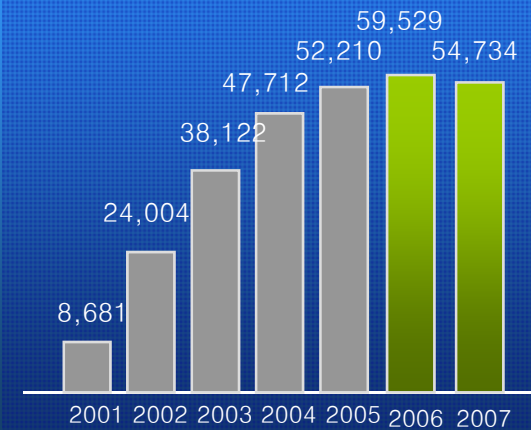
検 索



電子原文閲覧



原文複写申込



終わりに

“Change is the law of life. And those who look only to the past or the present are certain to miss the future.”



ありがとうございました

NDSL.or.kr

KESLI.or.kr